

特集

# 東三河の救急医療体制を守る——豊橋市民病院の役割

高度医療、急性期医療を担う市民病院には1日2千人を越える外来患者さんが来院されるため、診察待ち時間が長くなり、患者さんの負担が増えています。加えて、緊急性が高い重症患者さんを診療する役割の市民病院救命救急センターには、軽症患者さんを診療する役割の休日夜間急病診療所より多くの方々が診察に訪れています。市民の皆さんに地域の救急医療体制を理解していただき、皆さんで地域医療を守っていきましょう。

## 地域の救急医療体制と市民病院の役割

地域の救急医療においては、夜間・休日でも具合が悪くなった患者さんが受診できるような体制が必要で、豊橋市では、第1次救急医療体制として内科・小児科は休日夜間急病診療所、外科は開業医による在宅当番医制により対応しています。また、第2次救急医療体制として、市内では5病院が持ち回りで入院または緊急手術を要する救急患者の医療を担当しています。さらに、第3次救急医療体制として、第2次救急輪番病院では対応できない、脳卒中・心筋梗塞・頸部損傷・交通外傷など生命の危機を伴う重症な救急患者さんに対する医療を行うため、市民病院が東三河南部医療圏(豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市)の第3次救急医療施設としての役割を担っています。

## 本来の役割が果たせない救命救急センターの現状

### ■第3次救急病院への一極集中

夜間・休日に具合が悪くなった場合、その症状に応じて第1次・第2次・第3次の医療体制が敷かれています。比較的軽症の患者さんが第3次病院である当院に数多く受診している現状があるため、第3次救急病院としての機能を十分に果たすことが難しい事態になりかねない状況にあります。

## ■限りある病床のなかでの救急医療

当院は24床の救命救急ベッドを中心にして第3次救急を運営していますが、特に冬季には慢性的に満床傾向にあります。また病院全体の平均在院日数は、15・4日まで短縮し、忙しい病床運営をしています。これは、常に救急患者さんを受け入れるために、短期間で退院または転院をお願いしていることによるものです。介護福祉施設に入所してみえる方々にも同様にお願しています。限りある救急医療資源を有効に活用し、質の高い医療の提供を目指しています。

(鈴木伸行医局長兼救命救急センター長)

## 「かかりつけ医を持つことが救急医療を守る第一歩

市民病院には毎日多くの外来患者さんが来院され、診療待ちの時間が大変長くなっています。しかし、すべての患者さんが市民病院でしか出来ない治療を受けているのかと言え、必ずしもそうではありません。このため、患者さんの健康状態や病状などをよく理解する身近な医療機関である「かかりつけ医を持つことは、患者さんにとって大変有益なことです。

「かかりつけ医」を持つことで、予防も含め健康管理や生活改善についての相談・アドバイスが受けられますし、

次ページ「市民病院とかかりつけ医との病診連携の流れ」のように市民病院と連携しているので、入院や検査が必要なときなどは市民病院を紹介してくれます。救急医療を守っていくために、まずは「かかりつけ医」を持つようにしてください。

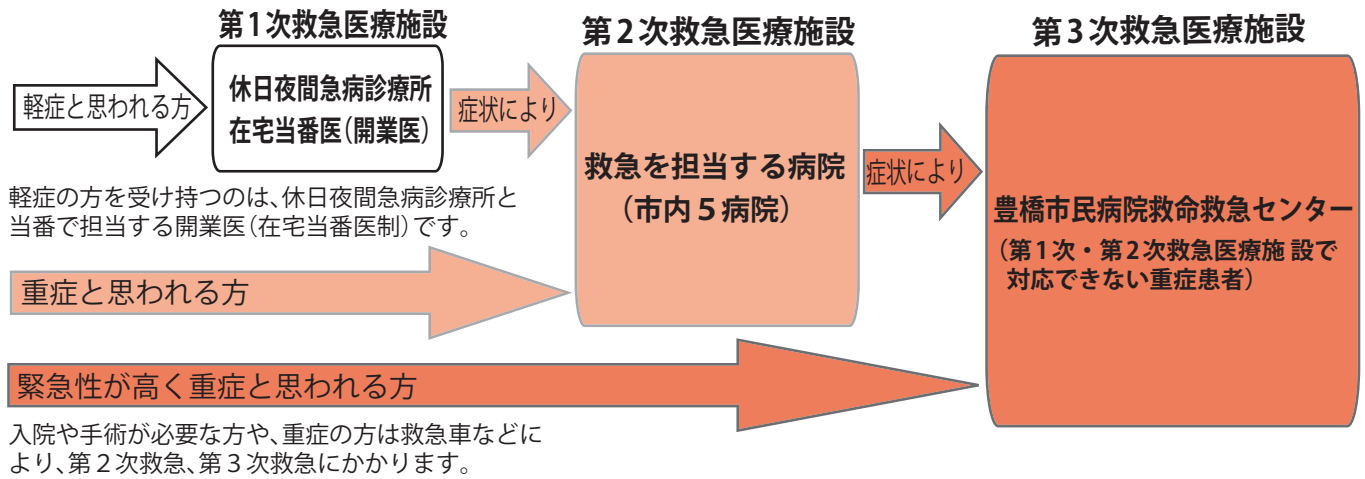
### 問合先

市民病院管理課(☎33・6111)、  
救急医療体制に関しては、  
健康政策課(☎39・9111)

■救急医療施設別診療・受診実績(昨年1月～12月)

第1次救急医療施設 休日夜間急病診療所 診療実績	28,132人	
第2次救急医療施設(市内5病院) 診療実績	3,050人	
第3次救急医療施設 市民病院 救命救急センター	救急外来受診患者数	33,483人
	救急外来からの入院数	4,949人
	救急車受入台数	5,352回
	ドクターヘリ・ 防災ヘリ受け入れ数	54回

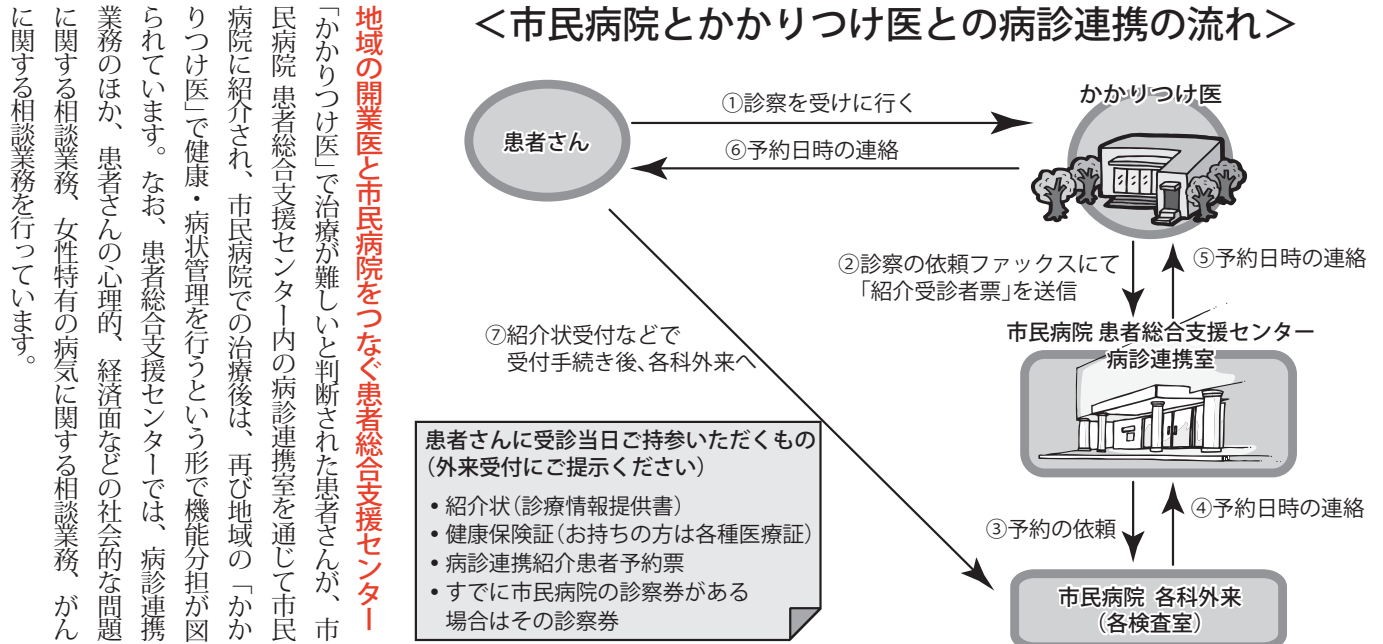
## <休日・夜間の救急病院のかかり方>



■救急医療機関などの問合先 救急医療情報センター(☎63・1133)

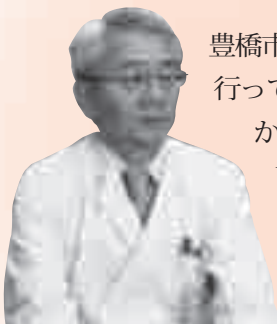
■休日などの夜間に子どもの緊急時の対応に困ったら、看護師・小児科医などに相談できる「愛知県小児救急電話相談」(☎# 8000、または☎052・263・9909。受け付け時間は土・日曜日、祝日、年末年始の午後7時～11時)を利用してください

## <市民病院とかかりつけ医との病診連携の流れ>



“命を救う最後の砦”<sup>と</sup>りでの役割を果たすため、職員一同、日夜頑張っています。

豊橋市民病院 院長 岡村正造



豊橋市民病院の使命は、「豊橋市民病院へ行けば何とかしてもらえる、豊橋市民病院へ行って満足した」と言ってもらえる病院にしましょう。この使命を365日1日も欠かさずに果たすべく職員は日夜頑張っています。今後とも、この使命を果たす豊橋市民病院が永遠に存続し続けるためには、病院ごとの機能分担が必要です。市民の皆様には、当院は重症患者を最優先する病院であることをご理解頂けますようお願い申し上げます。市民の皆様のご協力があれば、当院の医療スタッフは必ず皆様にとって“命を救う最後の砦”となるよう頑張ります。